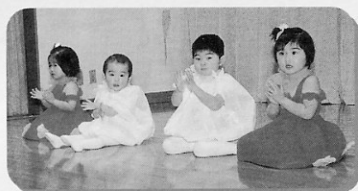


第三



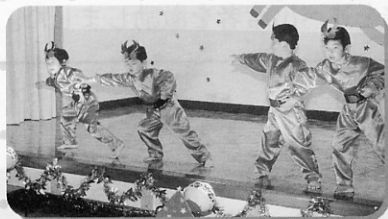
12月21日

第一



12月20日

# 保育所 お遊戯会



12月22日



12月22日



第四



第二

# HAPPY Wedding

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行)事務局「金木町中央公民館」によりカップルとられた方々をご紹介します。

♥かなぎ公民館ブライダル情報♥



2002. 1. 4 新郎 白川 潤さん(金木)  
新婦 原田留理子さん(嘉瀬)



2001. 12. 30 新郎 山中 憲仁さん(嘉瀬)  
新婦 松川 智子さん(嘉瀬)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館(☎五三三三五八二)にご相談ください。  
また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバム(記念品等々)の特典があります。

## 『ふるさとかなぎ会』だより

ふるさとの皆様、新年明けましておめでとうございます。ふるさとかなぎ会会員は2002年も元気でがんばります。私たちがいつも思うことは、故郷金木町に幸あれです。

地元に住られる方々には想像できないかもしれませんが、故郷を離れた人間はいつもふるさとを想っています。

昨年の桜まつりは町役場をはじめ、皆様様大変なご協力とご支援をいただきました。衷心より感謝申し上げます。できれば今年もテントを張らせていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

金木町を離れて関東に在住されている人々は数千人と思われまます。ご親戚、同級生に、ふるさとかなぎ会があるという事をぜひお知らせください。何かのお役に立てると思ひます。

ふるさとかなぎ会の総会及び懇親会を6月30日(日)午後1時から東京中野サンプラザで開催の予定です。ふるさとの皆様のご出席をお待ちしております。

今年は全会員が金木町を関東地域のあらゆるところで宣伝していきます。ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

金木町の益々の繁栄と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ新年のごあいさつと致します。

ふるさとかなぎ会  
会長 工藤 源次郎

### — ふるさとかなぎ会事務局 —

〒170-0002  
東京都豊島区巢鴨1丁目3番22号  
加藤税理士事務所内  
TEL:03-3942-8825 FAX:03-3942-9171

## 国民年金情報

### 20歳になったら国民年金

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。20歳になったことにより社会においていろいろな責任がでてきます。国民年金に加入するののもその一つです。若い皆さんに「年金」といっても、まだまだ先のことという認識しかないとします。

しかし、老後はだれにも平等に訪れるものです。「人生八十年時代」といわれる現代の日本では、20歳から60歳までの現役世代が、65歳以上の先輩たちの老後を支える「公的年金制度」を設けています。

#### ◆加入手続きを忘れずに

20歳になった皆さんも、成人の責任として、公的年金の加入が義務付けられます。忘れずに町役場で国民年金の加入手続きをしましょう。

学生も20歳になったら必ず加入します。

#### ◆保険料を忘れずに納付しましょう

加入手続きが済んだら、毎月の保険料をきちんと納めましょう。学生の場合には、保険料の納付特例制度が有りますので、希望される方はこの申請も忘れずに行ってください。

#### ◆将来の年金・もしもの年金

加入手続きをしなかったり、保険料を納めずにいると将来満額の年金が受け取れなくなったり、もしものときの障害年金等が受けられなくなります。

### 源泉徴収票が送付されます

国民年金、厚生年金保険から支給される老齢年金(老齢基礎年金、老齢厚生年金等)は、税法上では雑所得とされ、所得税の対象になります。

この年金を受けている方には1月末頃までに、社会保険庁から源泉徴収票が送付されます。

この源泉徴収票には、平成13年2月から平成14年1月までに支払われた年金額と年金から源泉徴収した税金や介護保険料額などが記載されています。

複数の年金を受給されている方や、年金以外にも所得のある方は確定申告が必要であり、その際に税務署へ提出することになりますので、二月初旬になっても送付されない場合には、お近くの社会保険事務所にお問い合わせください。

なお、障害や死亡を支給事由とする障害基礎年金や遺族基礎年金等を受給されている方には送付されません。



# 太宰をしのぶ・その文学の魅力④

## 津軽・金木・太宰……(11)

金木町太宰会々長  
木下 巽

### 妻子を伴って

太宰は長兄が留守のとき、十年ぶりに生家の敷居をまたいだ。それから一年余の昭和十七年十月、再び生家の敷居をまたぐことになる。このときのこと

は作品『故郷』に詳しい。  
昭和十七年十月二十日、北芳四郎と中畑慶吉が訪ねてきて、母が重態だと告げた。北は「こ

んど私が、責任を持ちます。奥さんとお子さんを連れていら

つしやい。」と言ってくれた。お子さんとは、前年の六月に生まれた長女園子である。へ私は去年の夏には、文治兄さんに逢ふことが出来ませんでした。こんどこそ逢ひたい。」と願う。

た。…兄が出て来た。すつと部屋を素通りして、次の間に行つてしまった。顔色も悪く、ぎよ

つとするほど瘦せて、けはしい容貌になってゐた。…兄は、お客が歸つて行つてから「常居に

来て、私が何も言はぬさきから、「ああ」と首肯して疊に手をつ

き、軽くお辭儀をした。「いろいろ御心配をかけました。」私は固くなってお辭儀をした。「文治兄さんだ。」と妻に知らせ

た。兄は、妻のお辭儀がはじまらぬうちに、妻に向つてお辭儀をした。私は、はらはらした。お辭儀がすむと、兄はさつさと二階へ行った。津軽の流儀だが、長兄の立場としての複雑な心境を垣間見ることが出来る。

### 病床の母

十月二十七日、妻子を伴つて上野を發つた。正式に長兄から許しが出てゐるわけではないので、まず五所川原の中畑の家に立ち寄る。荷物を預けて、津軽

鐵道の汽車で金木に向かつた。…兄が出て来た。すつと部屋を素通りして、次の間に行つてしまった。顔色も悪く、ぎよつとするほど瘦せて、けはしい容貌になってゐた。…兄は、お客が歸つて行つてから「常居に

母の瘦せた手のひらに押しつけてやったら、母は指を震わせながら握りしめた。



▲太宰と美知子夫人、長女園子  
(ちくま学芸文庫「図説 太宰 治」より転載)

美知子夫人は、へ母は着みが

消えゆくように見えた。…ふつうの嫁、姑の間柄ではなかったけれども、会つていながら言葉

ことばさびしい。…と、初対面の印象と、姑への慕情の念を感動的に記している。  
へ突然、親戚のおばあさんが私の手をとつて母の手と握り合はせた。私は片手ばかりでなく、

### 生家に泊まる

ゆきちがいで見ていないが、すぐ来いという速達を次兄英治が出していたのだから、公然の帰宅といつてよかつた。だが、母の病室から出た太宰は、この

まま生家に泊まつていいものか、思い惑う。太宰は暗くなつた寒い洋室の一間で、「居るべき場所が無い」と実感する。

妻と二人、暗闇の中にうなだれて立っていたとき、嫂が来て、「まあ、こんなところに！」明るい驚きの声を挙げて、「ご飯

ですよ。美知子さんも、一緒にどうぞ。」と母屋の仏間に案内された。へ床の間に背にして、五所川原の先生(叔母の養子)、

それから北さん、中畑さん、それに向ひ合つて、長兄、次兄、私、美知子と七人だけの座席が設けられてゐた。…五所川原の先生が、少し酔つてはしゃいで

くれたので、座敷は割に陽氣だつた。私は腕をのばして、長兄にも次兄にもお酌をした。…五所川原の先生は、分家の当主として、親戚を代表して太宰が妻子を伴つての帰郷を、略式ながら公認するためによばれたようだ。長兄も含めて、次兄や嫂たちとも、なごやかにうちとけて夕食を共にした。

### 義絶勘当解ける

作品『故郷』の末尾に、私が「常居」の隣の「小間」で、次兄の坐つてゐるのに話しかける。「お母さんは、どうしても、だめですか?」「…むずかしいと思わねばいけない。」と言つた。へそこへ突然、長兄がはひつて来た。少しまごついて、

それから、どかと次兄の傍にあぐらをかいた。「困つた、こんどは、困つた。」さう言つて顔を伏せ、眼鏡を額に押し上げ、

片手で兩眼をおさへた。ふと氣がつくと、いつのまにか私の背後に、一ばん上の姉が、ひっそり坐つてゐた。…母を氣遣う兄弟たちの和合の図柄は、その心理的位置をも計算においた見事さで仕立てあげられてゐる。

(内田道雄氏)

この年の十二月母危篤のときは、単身帰郷し母の死を看取り、二週間ほど滞在した。翌十八年一月の法要には、再び妻子を伴つて帰郷している。

母夕子の病とその死を介して、兄弟無言のうちに「義絶勘当」が解けたようである…。

# これからの金木病院

院長 杉山 讓

金木・中里両町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。私が公立金木病院(以下、当院)に赴任いたしましたから三回目のお正月を迎えますが、医療情勢は厳しさを増す一方で、年頭の所感にしては少し不適切かもしれませんが、現在当院が置かれている種々の困難な社会的状況についてご説明し、皆様のご理解とご支援を頂きたいと思っております。

まず、政治的には国お声がかりの市町村合併(以下、合併)があります。もし、合併の方向に進まない市町村がある場合には、多分これらの自治体に対しては国からの地方交付税の減額ないしはカットという処置が行われるでしょう。従って三割自治といわれる財政基盤の弱い県内市町村は、選ぶ相手は別にしましても、大きく合併の方向に進まざるを得ないものと思われま

なせ合併話が持ち上がったのでしょうか。色々なことがあるのでしようが、その原因の一つに国および地方財政の硬直化が上げられます。国では税収の伸びがなく、市町村に回す予算が不足している。一方、市町村ではもともと自前のお金がない上に国からの交付金が少なくなつた、あるいは予算がつかないなどで事業を遂行することができない、といった悩みがあります。

ところで少ない予算を国、市町村とも効率よく利用するには、予算を配分すべき相手の頭数が少なければ少ないほどよいということになります。そのため合併が是非必要、というのが国の考え方と思われま

や増改築は勿論のこと、最新の医療器具の購入が困難です。このことに対する改善策の一つが病院再編と考えられています。さらに慢性的医師不足に対する解決策になるものと期待されています。すなわちセンター病院に医師を集中させ、より高度の医療や救急医療を行い、周辺病院では療養型や慢性疾患に対する医療を行うという機能分担です。このことにより予算不足、

医師不足を解消しようという考え方です。周辺病院では当然のごとくベット数の減少、規模の縮小に向かわざるを得ないものと思われま

森県にあつて唯一の医師供給源ともいえる弘前大学医学部(以下、弘大)では、なるべく多くの研修医が県内に残るように努力しています。そのためには研修の受け皿となる主病院及び研修を補助する従病院(主病院にごく近い市立病院クラス)の整備が急務です。しかも主病院、

絶対条件です。この条件をクリアするために当院のような中小病院からの医師引き上げが行われ、その結果医師不足に一層の拍車がかかることが懸念されま

解消されないままと考えられるからです。当院では私が赴任致しましてから外科医二名の増員、整形外科医一名の常勤化などがあつた反面、小児科医および産婦人科医各一名の非常勤化がありま

減少傾向はあつても増加傾向はないということです。だからといって民間企業のリストラに相当する病院職員の削減は、地方公務員の身分からいって現実には不可能です。これが病院再編が一段落するまで、当院が抱えなければならぬ大きなジレンマです。しかし嵐が過ぎ去るまで座して待つ訳には行きませんし、縮小一途では職員の士気にも影響します。医師の補充を弘大以外に求める、一般病棟の一部を療養型や回復期リハビリテーション病棟に変換するなどの方策を立て現在検討中です。当院職員全員の叡知を結集し、生き残りを目指さなければなりません。職員一同最大限の努力を致しますので、当院に対する両町民の皆様の絶大なるご支援を心からお願ひ申し上げます。

# はじめまして

西堀 杏奈ちゃん  
(12月8日生)



どんな女の子に成長するか楽しみです。  
健康に育ってね。(母 美穂子より)

伊丸岡 知樹くん  
(11月24日生)



お姉ちゃんといつまでも仲良  
くね。(父 忍より)

其田 千穂ちゃん  
(12月16日生)



元気があれば何でもできる!! 丈夫な  
女の子になってね!(父 光平より)

吉田 岳飛くん  
(12月17日生)



すくすく元気に育ってね  
(両親より)

濱田 幸大くん  
(12月19日生)



パパより大きくなってね。  
(母 広恵より)

中野 彩香ちゃん  
(12月3日生)



元気で丈夫な子に育ってほし  
い(母 志穂より)

山田 愛夢ちゃん  
(12月16日生)



大きくなったらモー娘の踊り教え  
てあげるからね♡(姉 雛乃より)

# 戸籍の窓

おめでとよう  
十二月届出分

伊丸岡 知樹 (忍) 喜良市  
西堀 杏奈 (暢造) 金木  
山田 岳飛 (秀樹) 金木  
吉田 岳飛 (正人) 金木  
其田 千穂 (光平) 川倉  
濱田 幸大 (浩平) 嘉瀬  
中野 彩香 (健司) 嘉瀬

小松 ヤチエ (74才) 嘉瀬  
三浦 キワ (87才) 川倉  
黒川 ユキ (75才) 喜良市

## おくやみ

竹島 育子 (登) 十和田市  
古川 隆教 (良三) 喜良市  
亀山 浩子 (勝年) 金木  
安藤 功 (安吉) 岩手県  
古川 直美 (セコ) 中里町  
山崎 雄市 (明徳) 金木  
秋元 剛 (善智) 八戸市

## おしあわせに

鳴海 清則 (53才) 嘉瀬  
杉山 つせ (77才) 中柏木  
田村 耕蔵 (75才) 金木  
吉崎 年美 (76才) 嘉瀬  
松川 幸 (72才) 嘉瀬  
内海 マツコ (86才) 嘉瀬  
田中 キミエ (69才) 金木  
棟方 利一 (78才) 金木  
三上 兼次郎 (88才) 嘉瀬  
中谷 勝三 (86才) 川倉

この欄は金木町に住所を有し  
ている方々を掲載しています。  
掲載を希望しない方は町民課  
窓口へ届出の際申し出て下さい。

## 伝言板

●届いています  
十二月十四日

財布(茶色・皮製)  
金木病院受付前

●十二月二十五日  
財布(青色に黄色のしま  
模様・二つ折り)  
妙乗寺前路上

心当たりの方は、金木警  
察署落し物係りまで

◎係りから  
このコーナーを利用した  
いは企画観光課まで

## 人口と世帯

	12月末現在	前年同月比
男	5,671人	△ 47人
女	6,282人	△ 16人
計	11,953人	△ 63人
世帯数	4,063	1